

地域交通対策の取組み

～ドイツ・イタリアに学ぶヒューマンスケールの交通まちづくり～

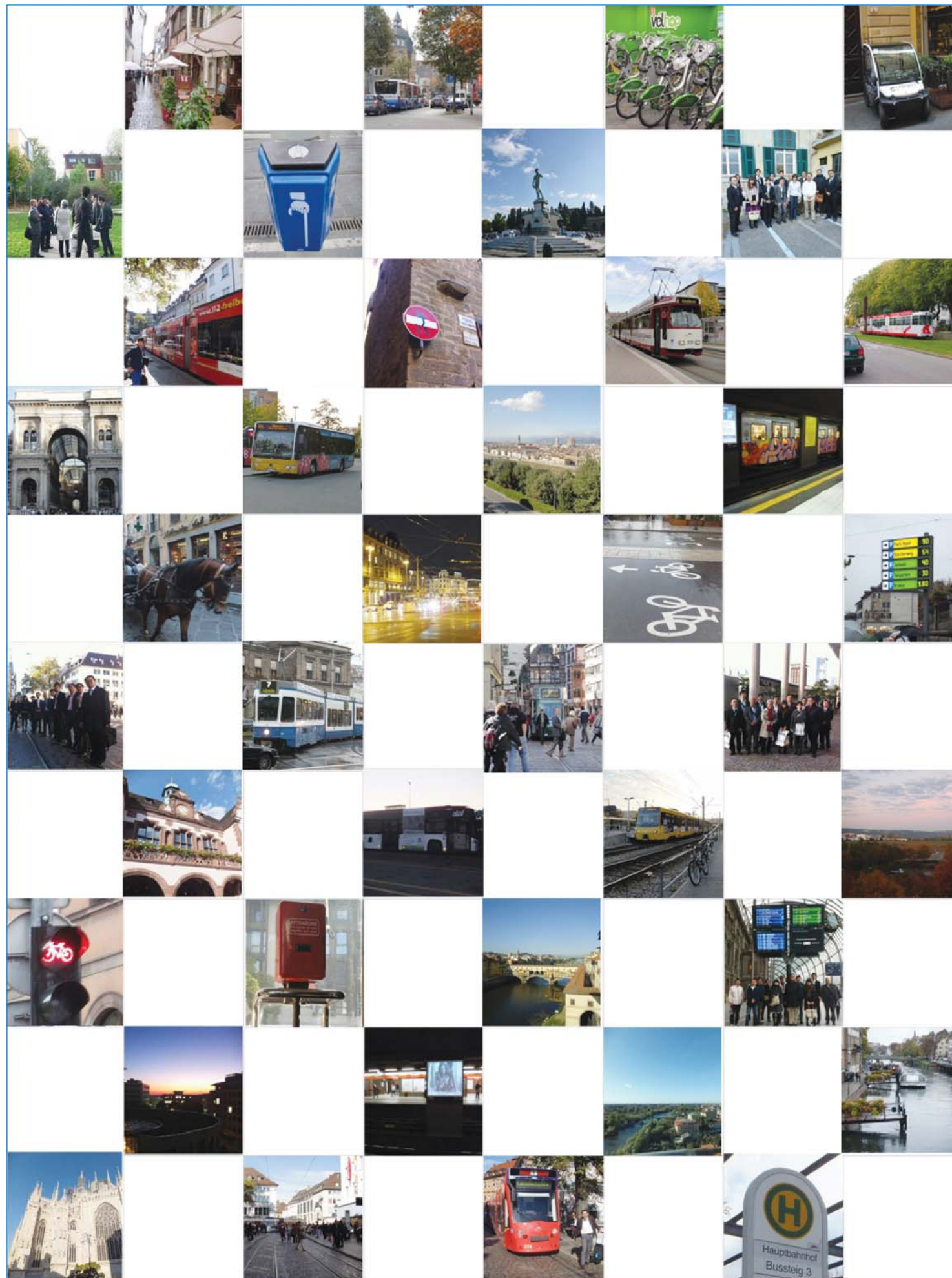


平成23年度

課題テーマ別調査研究報告書

地域交通対策の取組み

(財)神奈川県市町村振興協会

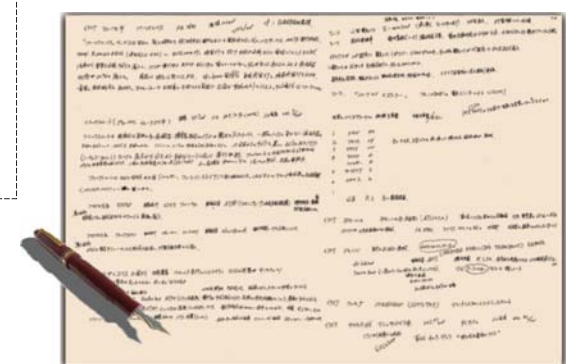
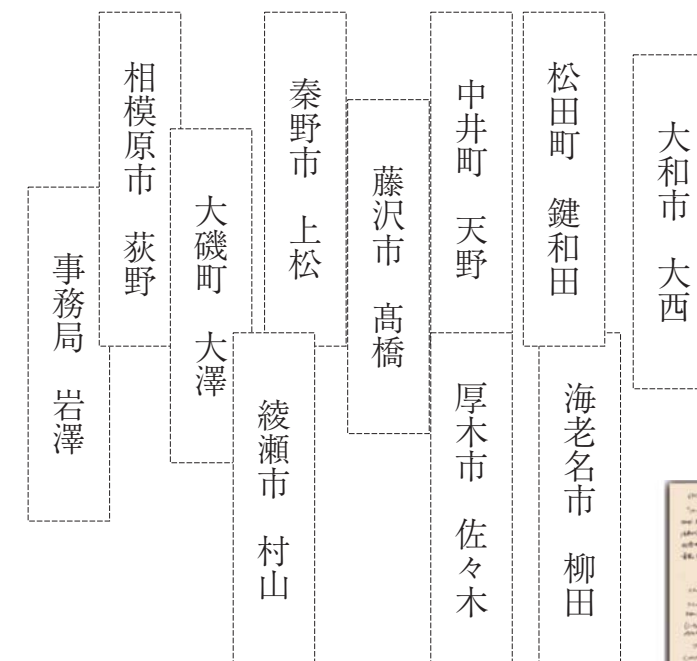


課題テーマ別調査研究 海外調査行程図

(インディペンデントテーマコース)

〈地域交通対策の取組み〉

ハイルブロン・シュツットガルト・フライブルク・ジェノバ・フィレンツェ





は　じ　め　に

長引く経済低迷に加え、先般の東日本大震災の影響もある中で、県内の市町村も以前にも増して厳しい行財政運営を強いられております。

そうした一方で、地方分権の進展に伴い、住民福祉の増進、地域活性化、地球環境対策はもとより、大震災を踏まえた防災対策など市町村が果たすべき役割はますます増大しつつあります。

これらの課題に適切に対応していくためには、市町村職員には幅広い視野と柔軟な発想力や積極的な行動力を培うことが重要となっております。

平成12年度からスタートした「課題テーマ別調査研究」(インディペンデントテーマコース)は、協会が定めたテーマに関心と意欲を持って応募した若手・中堅の職員に、自主的に調査研究を行ってもらう事業です。

このような時こそ、この事業が実践的で創造性豊かな人材育成に役立つものと考えております。

今年度のインディペンデントテーマコースは、①「ワークライフバランスの取組み」、②「地域交通対策の取組み」の2つのテーマで実施されました。

集まった各コースの研究員(各10名)は、事前の準備として熱心に調査研究活動に取り組み、テーマに沿った訪問先や具体的な調査事項を決定し、①コースは10月23日から30日、②コースは16日から23日までの8日間、海外調査(①ドイツ、スウェーデン②ドイツ、イタリア)を実施しました。これらの調査研究活動の成果をここに報告書として取りまとめることができました。

おわりに、この課題テーマ別調査研究に御尽力いただきました関係者の方々に心から感謝申し上げますとともに、調査研究の成果と研究員の貴重な体験が、これからの市町村行政推進の中で活かされていくことを心から期待しております。

平成24年2月

財団法人神奈川県市町村振興協会

理 事 長　服 部 信 明

目 次

調査研究報告

本報告書の概要	2
掲載コラム一覧	4

第 1 章 調査研究の概要

5

1 調査の概要	5
2 地域交通対策に関するわが国の動向	12

第 2 章 訪問調査結果

19

1 ハイルブロン（ドイツ）	19
2 シュツットガルト（ドイツ）	33
3 フライブルク（ドイツ）	47
4 ジェノバ（イタリア）	70
5 フィレンツェ（イタリア）	81
6 ミラノ（イタリア）	94

第 3 章 公共施設調査

102

1 ストラスブール（フランス）	102
2 チューリッヒ（スイス）	107

第 4 章 有識者による講演

110

講演 1 筑波大学大学院システム情報工学研究科講師 谷口 綾子 氏 「欧州各国の国土計画・地域政策、イタリアでのモビリティマネジ メント施策、公共交通情報について」	110
--	-----

講演 2 明治学院大学経済学部教授 服部 圭郎 氏 「ドイツ（欧州）の交通事情について」	123
---	-----

第 5 章 まとめ・総括

138

課題テーマ別調査研究を終えて

142

参考資料

○ 平成 23 年度課題テーマ別調査研究実施要領	145
○ 国内研究日程	149
○ 海外調査日程	151
○ 研究メンバー表	152